

移住定住 WEB サイト
「ココカラオオツチ」
ほか SNS で情報発信



4つのパズルのピースをモチーフにした「ココカラオオツチ」のロゴマーク。「移住者のやりたいことが大槌にピタッとハマってほしい」という事務局メンバーの願いが込められている。

▶ WEB サイト

大槌町の暮らしについて紹介しているほか、空き物件情報や地おこ募集の情報なども掲載



▶ Instagram (インスタグラム)



▶ Twitter (ツイッター)



▶ Facebook (フェイスブック)



▶ LINE (ライン)



ぜひ活用して大槌の「居・色・自由」を楽しみましょう！



北上市の出身。仙台や東京のコンサルティング会社で新規事業の立ち上げやプロジェクト開発を経験した後、地域振興を得意とする企画制作会社を経て、大槌町の地域おこし協力隊に。移住の相談対応を担当する伊藤さんは、「今はやりたいことが明確ではない人も、いずれ大槌でやりたいことを見つけて、パズルのピースのように大槌という土地のピースにピタッとハマれば良いなあと思います。そのためのサポートをしていくのが、移住定住事務局の役割です」と理想像を描いています。

大槌町移住定住事務局

伊藤 将太 さん



大槌町地域おこし協力隊は現在 20 人。事務局は希望者のヒアリングなどを行い、これまで体験した 10 人全員の着任につなげている。

新しい暮らしづくりは勝手にはじまるのではなく、自分で「はじめる」から、「はじまる」。伊藤さんらがこだわるこの言葉には、人が起点となるまちづくりへの願いが込められています。広報おおつちでは、大槌ならではの魅力ある「衣・食・住」を通して、大槌の移住定住事業、そして今住んでいる人々の豊かな暮らしの鍵となる「居・色・自由」を皆さんに伝えていきます。



(写真左から) 地域おこし協力隊の伊藤将太さん、代表理事の神谷末生さん
地域おこし協力隊の橋本航さん、谷村優布子さん



ここから、はじめる
ここから、はじめる

「ここから、はじめる。ここからはじまる。」移住定住事務局の壁に貼られたこの言葉には、伊藤さんをはじめとする事務局スタッフの想いが詰まっています。移住定住の取り組みは、決して外向けにだけ発信するのではなく、今住んでいる人たちが、豊かに、幸せに暮らしていくことが大切だと考えています。地域の色や個性が混ざり合い、誰かに言いたくなるような居心地のいい場所。移住者の人たちにもそんな魅力や豊かさを感じてもらうために、定住に向けたサポートに奔走しています。

WEBサイトやSNSでの情報発信、相談受付のほか、地域おこし協力隊の「お試し受け入れ」の調整を